



# 集落支援員 じゅっちゃんの ALOHA! 五城目町。

ネコバリ岩まわりの空気感



五城目町の皆様、Alo-ha! 集落支援員の八嶋美恵子です。8月に大雨の被害に遭われた地区の方々に、心よりお見舞い申し上げます。自然災害は、いつ起こるか分からないからこそ、毎日の生活のなかでも気楽に頼り合える関係性を築いていくことが大切だと実感しております。

さて、今月は日本語で、「生命力・超自然の力」など、「ハッとするような自然のエネルギー」を表現する「Mana」というハワイ語にまつわるお話です。五城目で暮らしていると、そんな「Mana」を感じる瞬間が多々あります。

早朝や夕方、霧がかかった空気や、森山の影に陽光が反射した時、そっと足を止めて見入ってしまうことがあります。また、大きな野鳥を見た時、鳥のきれいな鳴き声に気づく瞬間も、なんだかドキッとします。

足を延ばして「ネコバリ岩」周辺を歩いた時、周囲よりも冷たく感じる空気のなかで深呼吸し、水流や葉の音に耳を傾けると別世界にいるかのような感覚になります。

また、わたしは温泉が大好きなのですが、特に町内各温泉の駐車場には道路沿いとは違う空気（杉の濃い香りなど）が流れているのです。お風呂に入る前後には、駐車場でぼーっと立ち止まり、じっくりとその空気感を味わいます。これは、お風呂・サウナと相まってさらに癒しを得られる気がするので、おすすめです！（笑）

よろしければぜひ、皆様にとって「Mana」を感じる場所、食べ物などを教えてください。五城目で暮らしていても、日々、知らないことを発見するような気持ちで町を回ってみたいと思っています。

## ふたつの立場で魅力発信

齊藤 大蔵（岡本二区出身）



第一回定期登山での一コマ

平成31年3月に首都圏での職を辞し、ある覚悟の上で秋田に身をおいて3年が経過しました。日々の業務の都合で平日は県南、土曜日と日曜日は五城目に滞在しています。

通りに面したちよだ五城目交流館の事務局、もつと森山をもちあげ隊の事務局長としてボランティア活動に携わっています。

「ちよだ五城目交流館」は民間宿泊施設であり、文字通りの交流の場でもあり、県内各地はもとより、全国からの来館者がいます。今年には新たな取り組みとしてオンラインツアーをはじめ、築110年の古民家や歴史ある朝市の紹介を通じて、多くの方々と触れ合い、五城目は「何をやっているのか気になる町」であることを良く耳にします。その場にいると気が付かない五城目ならではの魅力があると感われます。

「もつと森山をもちあげ隊」では登山道の周辺を含む環境保全活動を通じて、森山の魅力を発信し、ひいては五城目の活性化を目指しています。2人の手探りから始めた活動も現在のメンバーは様々な立場の有志の36人となり、みなさまの森山を愛する表れと感謝しています。このような社会貢献活動に携わること、秋田に身をおいた当初の目的のひとつであり、ある程度の達成感を感じています。



写真左が私です。右はちよだ五城目交流館代表の小林敏夫さん。

## 弓道部女子団体 東北大会第2位!!

～感謝の気持ちを胸に～

私たち五城目高校弓道部は、6月25・26日に行われた東北高等学校弓道選手権大会の団体戦で第2位という成績を取ることができました。

このような成績を取ることができたのは、毎日ひたすら練習し、感覚を体に叩き込んだことと、コーチや先生、保護者の方々のサポートがあったからだと思います。私たちのコーチは、弓道のことを誰よりも知っており、細かく、時には厳しく情のあるご指導をしてくださりました。また、五城目高校

の弓道場はとても自然豊かで、このような素晴らしい環境の中で弓道ができたことに深く感謝しています。

東北大会に出場するまでの道のりは決して平坦なものではなかったのですが、最高の仲間がいたからこそ乗り越えることができました。これからも周りの方たちへの感謝を忘れずに生活していきたいと思っています。

今後とも五城目高校弓道部への応援をよろしくお願いします。  
(弓道部主将 3年 畑沢 祐奈)



五城目高校のわだいを定期的にお届けします!



女子団体準優勝メンバー



部活動紹介での1コマ

### 9月の主な行事予定

- 16日(金)～ 就職試験解禁 (3年)
- 22日(木) 80周年記念森山登山



五城目高校ホームページ: <http://www.gojome-h.akita-pref.ed.jp/>

## ごじょうめの 文芸



「短歌」

夏至の日の日暮れは長しと語り合ひ  
仄かに白き冷や奴食ふ

大川 小熊 正明  
それぞれの秘しことあれど語らへば  
共鳴し合い笑ふ一時

岡本 大石 政子  
夏の夜の遠く聞こえる花火音  
門前に立ちあがるを待てり

「俳句」

コンバイン油を飲んで出番待つ  
頭垂れ刈り時早くなりそうな

八田 伊藤 豊子  
八郎瀧町 北嶋美保子  
夏の夜の弾けるメール孫と爺

湯ノ又 畑沢トミ子  
供物食ふあと何年や生身魂

畑 町 本間 恵子  
柿若葉術後の目には射る如し

湯ノ又 松橋テル子  
「一川 柳」

世話すればただだけ答え出でくれる  
坪庭に育ち過ぎてる記念の木

長町 平川のお子  
西野 佐藤ちずる  
コツコツと積んだ私という歴史

大川 渡部 光人  
起きあがり小法師に学ぶしたたかさ